



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

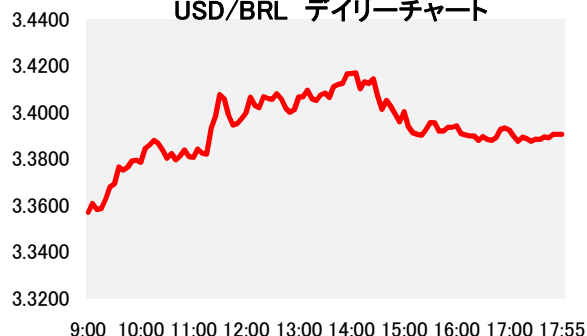
| | | | 11月17日 | 11月18日 | 11月21日 | 11月22日 | 11月23日 | Net Chg |
|-----|---------------|-------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 為替 | USD/BRL | Spot | 3.4210 | 3.3810 | 3.3510 | 3.3560 | 3.3900 | +0.0340 |
| | BRL/JPY | Spot | 32.13 | 32.71 | 33.15 | 33.12 | 33.20 | +0.08 |
| | EUR/USD | Spot | 1.0624 | 1.0598 | 1.0613 | 1.0619 | 1.0548 | -0.0071 |
| | USD/JPY | Spot | 109.94 | 110.62 | 111.09 | 111.18 | 112.59 | +1.41 |
| 金利 | Brazil DI | 6MTH(p.a.) | 13.264 | 13.232 | 13.126 | 13.082 | 13.064 | -0.017 |
| | Future | 1Year(p.a.) | 12.544 | 12.501 | 12.339 | 12.281 | 12.248 | -0.033 |
| | On-shore | 6MTH(p.a.) | 2.416 | 2.472 | 2.565 | 2.548 | 2.473 | -0.075 |
| | USD | 1Year(p.a.) | 2.667 | 2.746 | 2.819 | 2.698 | 2.610 | -0.088 |
| 株式 | Bovespa指数 | | 59770 | 59962 | 61070 | 61954 | 61986 | 31 |
| CDS | CDS Brazil 5y | | 309.22 | 315.00 | 309.16 | 303.71 | 306.08 | +2.37 |
| 商品 | CRB指数 | | 182.440 | 183.135 | 187.308 | 187.563 | 187.685 | +0.12 |

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

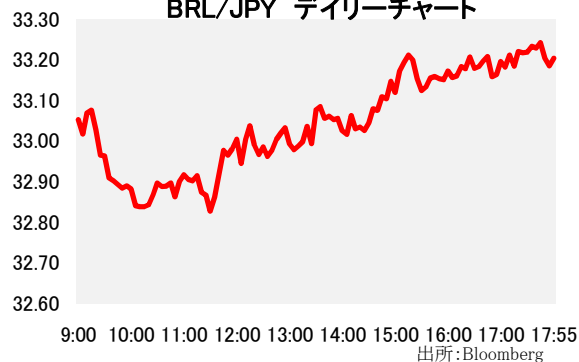
2. 主要経済指標

| イベント | 予想 | 実績 | 前回 |
|-----------------------|-------|-------|-------|
| FGV CPI IPC-S | 0.34% | 0.24% | 0.35% |
| IBGEインフレ率IPCA-15(前月比) | 0.28% | 0.26% | 0.19% |
| IBGEインフレ率IPCA-15(前年比) | 7.67% | 7.64% | 8.27% |
| (米)MBA住宅ローン申請指数 | -- | 5.5% | -9.2% |
| (米)耐久財受注(前月比) | 1.7% | 4.8% | 0.4% |
| (米)新規失業保険申請件数 | 250k | 251k | 233k |
| (米)失業保険継続受給者数 | 2008k | 2043k | 1983k |
| (米)マークイット米国製造業PMI | 53.5 | 53.9 | 53.4 |

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

| |
|----|
| なし |
|----|

4. トピックス

- 本日のレアルは3.3590で寄り付いた後、間もなく本日の高値となる3.3550を付けた。しかし、米FOMC議事録の発表を控えてリスクオフモードが見られた他、伯中銀によるドル売り介入が見られなかったことでレアルはじりじりと反落した。更に10月の米耐久財受注はこの5カ月で4カ月目の増加となるなど、米経済指標の良好な結果を受けて利上げ観測が高まるとレアルは日中安値となる3.4190まで続落。引けにかけて3.39台前半まで買い戻された後、結局3.3560でクローズした。
- 米FOMC議事録が発表され、内容からは次回の会合で利上げが実施されるべきだとする参加者も見られた他、大半の参加者が比較的早期に利上げが妥当になるとの見方が示された。また、緩やかな利上げペースにすることで経済成長続くとの判断している。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。

出所: Bloomberg